

製品名: VAMP8 (N末端) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85966**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	11.4kDa

抗原情報

遺伝子名	VAMP8 (N-term)
別名	Vesicle-associated membrane protein 8, VAMP-8, Endobrevin, EDB, VAMP8
遺伝子 ID	8673.0
SwissProt ID	Q9BV40
免疫原	この VAMP8 抗体は、ヒト VAMP8 の N 末端領域からの 2 ~ 24 アミノ酸間の KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

背景

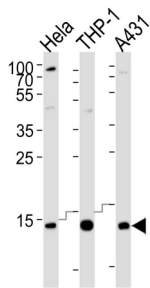
SNARE (可溶性 N-エチルマレイミド感受性因子結合タンパク質受容体) は、細胞膜の融合に必須のタンパク質です。対向する膜に局

在する SNARE は、集合してトランス SNARE 複合体を形成します。これは、膜融合を促進する 4 つの α ヘリックスが平行に伸びた構造です。VAMP8 は、オートファゴソームとリソソーム膜の融合を直接制御することでオートファジーに関与する SNARE です。また、血小板における緻密顆粒の分泌にも必要です。膵臓腺房細胞における酵素分泌の制御にも関与しています。細胞分裂中の中間体の分離に関与し、完全に分離された娘細胞を生み出します。さらに、初期エンドソームと後期エンドソームの同型融合にも関与しています。

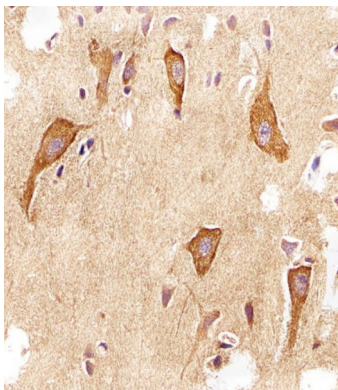
研究分野

オートファジー

画像データ



HeLa、THP-1、A431 細胞株 (左から右へ) のライセートを VAMP8 抗体 (N 末端) を用いてウェスタンブロット解析した。VAMP8 (N 末端) マウスモノクローナル抗体は、各レーンで 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L (HRP) 抗体 (1:10000 希釈) を使用した。ライセートは 1 レーンあたり 20 μ g。



VAMP8 抗体 (N 末端) (カタログ番号 AMM85966) を用いたパラフィン包埋 H.脳切片の免疫組織化学染色。AMM85966 は 1:25 に希釈した。二次抗体として、希釈していないビオチン化ヤギ多価抗体を用い、DAB 染色を行った。